

1999年(平成11年)6月

第 1 - 6 号

この子等の幸せを考える親の会
楳の木グループ

事務局

〒494-0018 尾西市富田漆畑16番地

TEL/FAX 0586-61-6055

編集責任者：広報・研修部

きぼう

第19回 この子らの幸せを 考える親の会総会 開かれる

去る4月29日の緑の日に、尾西市文化会館講堂を会場に、会員、関係者100名の参加の下、第19回のこの子らの幸せを考える親の会総会を盛会に行うことができました。ご来賓の大島尾西市長さんや浅野尾西議長さんなど沢山のご祝辞を戴き、今建設中の生活施設への関係者の皆さんのご理解とご援助に、親の会としてとても感謝致しております。ご挨拶の中で、会が今後ますます一致協力団結していくことが大切になるとのお言葉を戴きました。もとより会員は、親として、額に汗して頑張っていく所存であります。会員同志強く手をつなぎあっていくことの大切さを改めて深く致しました。

総会の午後の部では交流会を持ち、生活施設への期待や意見を交換し合いました。障害者お一人おひとりがこの生まれ育った地域で生き生きと暮らしていけるように願ってやみません。さまざまな身近な支えが求められています。「思いやりのある福祉の街尾西」を共に育んで行きたいと思えます。



第19回総会で、熱心に討議する会員たち。

平成11年度 親の会総会第3部 交流会から



わたくし達の願いを現実化してゆくためのプロローグでもあります生活施設の建設も半ばを過ぎ、いよいよ来たるべき平成12年の4月には総合的な障害者福祉の黎明が訪れようとしております。わたくし達がこの控えめな躍進をひとつの序章とさせて頂くのは、生活施設の整備自体が不適切であるとか不十分であるという意味ではなくて、わたくし達を含めて地域全体が未来へ向かってヒューマニズムを育ててゆく無限の可能性を秘めており、そういう温かな人間性の土壌の完成の中にこそわたくし達の目指す到達点があるからです。それはすなわち、障害者と健常者の分け隔てを撤去し、人が人らしく生きること（個人主義ではなく）の大切さとか、人と人との出会いと成長の大切な関係とか、人の幸せというものは実はその人を取り囲む人々が幸せかどうかということと切っても切れない関係にあるということとか、そういったことへの気付きによって地域自身が発展してゆくということに他なりません。生活施設とは、一方においては障害者の当たり前の生活を支える場としての選択肢の増強であると共に、他方においてはわたくし達の住んでいる地域全体をも巻き添えにして、本気で「人の幸せとは一体何だろう？」という問題に立ち向かってゆこうとする偉大な野心でもあります。さて、かように生活施設の開所を目前に控え、先日開催されました親の会総会」の第3部の交流会では、さまざまな意見や質問が出されました。それらの発言等に対する諸解答（現段階で述べられる範囲内）をも含めて、以下のようにご報告させていただきます。

(1)質問の部

◇親が生きているうちは自分達で子供の面倒を見てゆくつもりだが、もしそれが出来なくなってしまうとき、生活施設が定員一杯の状況でも利用させて頂けるのか？

解答→知らん顔するつもりはなく、出来るだけの努力はしてゆく覚悟であります。但し、そういう事態に備えて、(a)親御さんにおいてはご本人の主に精神的な自立を進めてゆくお付き合いを心がけて頂くと共に、(b)我々においてはご本人にとって最良の援助者となることのできるような努力をし続けてゆくことが大切であると考えます。また、そのことと平行して生活施設以外の豊富な選択肢、例えばグループホームや生活寮、民間のアパートなどを増設し、皆さんの持つ可能性を存分に発揮できる生活の場を準備することも怠ってはなりません。

◇今度の生活施設のトイレは和式と洋式とどちらでしょうか？

解答→両方とも設置してあります。

◇今度の生活施設は、尾西市外の人でも利用できるのか？

解答→出来ます。

◇今度の生活施設のショートステイを利用するとき、健康診断は必要か

解答→基本的には必要ですが、緊急の場合は必ずしも事前に行なう必要はありません。

◇今度の生活施設で発作や不意の怪我などの緊急の場合、医者との連携は大丈夫か？

解答→尾西市民病院との緊密な連携を取り、対応したいと考えます。

◇今度の生活施設の当直勤務の職員の人数は？

解答→開所当初は、利用者がそこに慣れるまでは出来るだけ通常よりも人数を増やして対応し、皆さんが慣れるに従って少しずつ元に戻してゆくことになると思います。

◇今度の生活施設の入所費用はどれくらい係るのか？

解答→所得によって異なりますので、個別に最寄りの福祉事務所にお尋ね頂いたほうがよろしいかと思えます。

◇合宿所は親子で利用してもよろしいか？

解答→施設で行なっている合宿以外に、親御さんや地域の皆さんの積極的な利用は歓迎いたします。

◇今度の生活施設に親としては入所させたいが、子供自身はどう思うだろうか？短期間の体験学習のようなもので納得させたいのだが？

解答→そういう目的のための宿泊設備は実際に整っております。それと生活施設に入所するかしないかの判断についてですが、基本的にはご本人の意志や必要性を第1番とし、そのことを中心に置いて親御さんと我々施設側との3者で十分に話し合っ、慎重に決めなければならないことと考えます。

◇生活施設？あまりピンとこない。わからない。

(2)意見の部

＜檜の木の子の取り組みの結果のプラス面＞

◇合宿の取り組みの効果が現れ、自宅での自炊が出来るようになった。

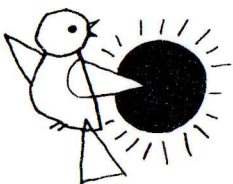
◇買物学習が楽しみのひとつになった。

◇給食のおかげで咀嚼（そしゃく）ができるようになった。

◇少しずつではあるが、子供が善い方向に向かっている。

◇待つことが出来るようになった。

◇利用者にはいろんな子供がいるが、皆平等で差別なく見てくださるのでありがたい。



〈榎の木の取り組みの結果のマイナス面〉

- ◇以前は自力歩行できたが、今は手スリがないと移動できない。
- ◇本人の長所が発揮できない。
- ◇躰（しつ）けについて、ソフトタッチの職員とそうでない職員とに分かれていて、厳しくして頂きたい。

コメント→躰というものは、ご本人に対して課題として提示するものではなく、日常生活の中でさりげなく職員が先ずお手本を示し気が付いたら知らず知らずのうちに身に付いてしまっていたというような行為であるべきだと考えます。

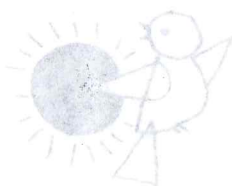
- ◇施設の中で職員がソフトタッチなので、自宅ではかえって緊張している。

〈親の会の活動について〉

- ◇自分が仕事を持っているので、なかなか親の会の活動に参加できないが、これからはできるだけ協力してゆこうと思います。

(3) 要望の部

- ◇買物の取り組みを増やしてほしい。
- ◇ショートステイや入所が気軽にできると有り難い。
- ◇生活施設に手スリを取り付けて頂きたい。
- ◇生活施設の建物の中が判らない。一度見学をしたい。
- ◇生活施設の中に喫茶コーナーや手作りクッキー、手芸品、花の苗などを即売するコーナーがあるとよい。
- ◇今度の施設は開放的で明るい雰囲気にしていただきたい。
- ◇今度の施設はボランティアさんをどんどん受け入れていってほしい。
- ◇子供はこだわりが強いので、環境に慣れるまでには時間がかかり、将来入所施設に入るための準備として、施設に慣れるための取り組みをしてほしい。（体験入所とか気軽に立ち寄れる場所として）
- ◇毎日の生活のルールが守れるようにして頂きたい。
- ◇食事を作ったり、洗濯させたりする機会を作ってほしい。
- ◇生活施設に慣れて、グループホームに繋げてほしい。
- ◇言語指導をしてほしい。
- ◇親が亡くなったときのために、この子等の兄弟達の考える会を作ってほしい。
- ◇親兄弟が一同に集まって話し合う場が必要ではないか。
- ◇次の目標に向かっての積み立てが必要。



◇子供が通園バスを利用していると職員との交流が少ない。たまたま子供が言語障害だと園で一日何をしてきたか判らない。連絡帳などを活用してはどうか。

コメント→連絡帳というものは学校時代の遺物であって、檜の木では大人同志のお付き合いを大事にしており、ご本人の知らないところで良いことも悪いことも伝わってしまう、しかもご本人自身がその伝達役を引き受けるという事態は避けたい。必要なことはその都度伝えてゆきたいと考えます。

◇学校時代は授業参観等で先生たちとの交流とか授業の雰囲気などが分かったのだけれども、檜の木園ではそういうものはなく、職員との交流も少ないので何かあったときも頼み辛く聞き辛い。

コメント→相互学習会をできるだけ開いてゆきたい、と考えます。

◇生活施設の親御さんと通所施設の親御さんとの交流がうまくやってゆけるかどうか心配である。疎遠になってしまわないだろうか。

コメント→これから考えてゆきましょう。

◇地域との交流の場、ふれあいの場が欲しい。(喫茶、音楽会)

◇ボランティアの受皿について、役割を明確にしながらやってゆく必要がある。

コメント→これまではボランティアについては慎重でありましたが、これからはもう少し積極的な方向で考えてゆこうと思います。

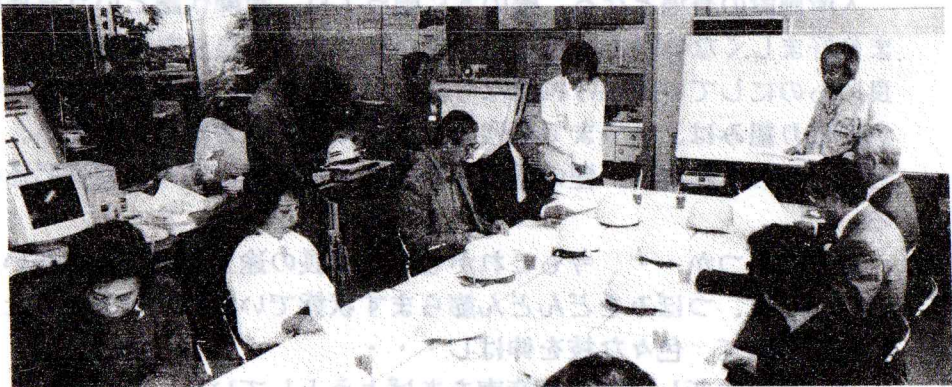
◇檜の木園は職員の移動が多く、なかなか子供が落ち着かない。

◇地域の人達に施設を見学してもらって、子供たちと出会えればいろいろな面で協力していただけるのではないか。

◇地域の小中学校との交流が必要。交流しているのとそうでないのとでは将来格段の差がでる。

◇生活施設建設準備会の内容が知りたい。

◇アンケートの中身を公表していただきたい。



写真は(仮称)檜の木寮建築現場で説明を聞く、
檜の木福祉会評議員の皆さん

檜の木コーナー

施設の開花



檜の木作業所が、尾西市富田に誕生してはや20年になろうとしている。ほとんど福祉とは無縁であったこの地に、作業所という根を生やし、檜の木園や小規模作業所という枝を伸ばしてきた。では、開花はいつなのであろうか。

この20年の間に多くの利用者が集まり、また社会へ出ていった。毎日施設の中では自分の課題ととりくみ、仕事と出会い、物事の名称、目的、価値などを考え、社会的な規範についてもとらえようと努力している。

施設の利用者一人ひとりがまさに、生きているのである。それに追従する職員も自分に課題を持ち、その人の言葉や表情に耳を傾け心を開く、そしてその人の将来や発達に対して、思考を続けなければならない。まさに生きているのである。

この活力にあふれた共存関係が、施設そのものを動かし、機能していくのである。この共存関係が崩れたらどうなるだろうか。それは、すなわち施設そのものの存続を危うくする。無気力、無関心、無感動がはびこった施設は、もはや施設ではなくなるのである。

『檜の木という施設は、利用者がつくる』と言うことを諸先輩職員から教わってきた。檜の木は、多くの利用者がみえるものの、その人その人に合わせた場面を整えてきた、日課も作業内容も行事もその人たちの発達の段階に合わせたものを用意してきた。この事が、檜の木を利用している人々が施設をつくるという意味である。もちろん、一人ひとりの発達の段階は変化してくるものであるし、利用する人々も変化、増加してきている。また、新しい場と取り組みが必要となってきたわけである。そこで・・・

入所施設の登場となる。檜の木に限っては、新陳代謝という言葉は、あまり好ましくないかもしれない。確かに、古くて良くないものは、新しい良いものにしていかなければならないが、檜の木の今まで培われた事、理念や取り組みは、いつまでも残して大事にしていきたいのである。このことは、檜の木作業所、檜の木園、そして入所施設、すべてに通じるのである。

開花はいつか・・・今もこれからも、成長の途上であり続けたい。養分を吸収して、つぼみをどんどん膨らます状態でいたい。じっくりと、地域に根をはって、色々な枝を伸ばし・・・

今、まさに新しい施設が産声をあげようとしている。今の内に、せいぜい母体に栄養を補給しておかなくては。

《収益事業部》

—— 夏の物資販売がはじまりました ——

ユニオンサービス、味よしの商品を中心に今回も夏向きの品々を取り揃えております。また、お手ごろな贈答用品も用意させて頂きました。

パンフレット等ご覧になりたい方、お問い合わせなどは、事務局までご連絡ください。

【バザー売上報告】

3/20. 21 朝日農協バザー ￥ 9,719

5/30 530フェスティバル ￥37,510

ありがとうございました



【バザー今後の予定】

6/6 きそがわ ほのぼのまつり

8/10 樫の木盆踊りに不用品バザーで参加

※ 前回の会報誌にて、『毛糸を譲って下さい』とお願いしましたところ、一宮の小島行男様より毛糸類のご寄付がありました。また会員3名の方からも布地や毛糸類のご寄付がありました。ありがとうございました。

バザー用品 提供のお願い

毎年恒例の樫の木盆踊り、今年も8月10日(火)に予定しております。親の会では、その中で不用品バザーを計画しております。

つきましては、このバザーのために押し入れや物置などに眠っている家庭用品、雑貨等、まだ使えるものがございましたら提供して頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

たとえばこんなもの

洋服、帽子、カバン、タオル類、電化製品、陶器、食器類、
CD、玩具、スポーツ用品 …………… など

受け付け期間は、6月15日～7月31日までです。直接持って来て頂くことが無理な方は、取りに伺いますので下記までご連絡下さい。

樫の木作業所 ☎0586-61-6055

《給食委員会》

スポーツ大会に参加

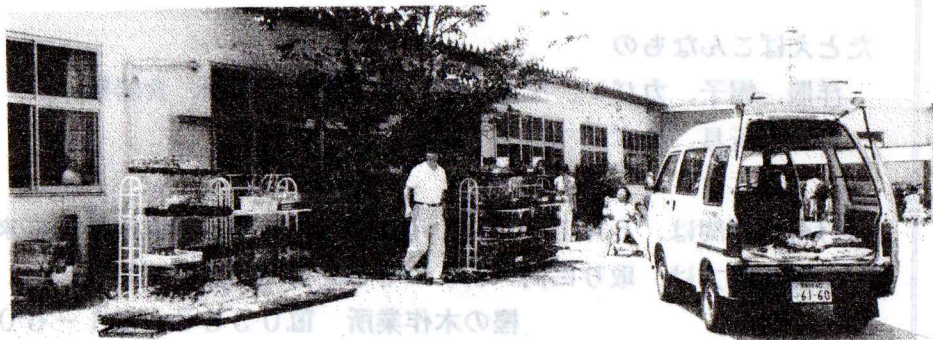
「あんたがタッチ心のバトン」第19回尾西市心身障害者スポーツ大会が、今年朝日東小学校のグラウンドで賑やかに行なわれました。小学校の皆さんも加わって、玉入れ、綱引き、大玉転がしなどに歓声をあげ、興じました。今年は、パン食い・ラムネ飲み競争にも出場させて戴き、面白くかつ満腹になりました。



皆んな一緒になって綱を引く!

地域の皆さん、お花の苗の販売はじめています

檜の木ではお花の苗の販売を始めています。朝日西の檜の木小規模作業所には、大きなビニールハウスもあります。販売場所は富田の檜の木作業所の運動場です。マリーゴールド、プチュニア、コスモス、松葉牡丹など、色とりどり。6月5日は特売日です。3個100円得設コーナーがあります。地域の皆さん、是非見にきてください。



作業所に苗を運び、ご来所お待ちしております...